

指定管理者の指定管理に関する評価シート

1 指定概要

施設概要	名称	放課後子どもひろばたまなわ・鎌倉市たまなわ子どもの家「うさぎ」
	所在地	鎌倉市玉縄一丁目860番地
指定管理者	名称	株式会社明日香
	住所	横浜市西区北幸一丁目4番1号 天理ビル9F
指定管理期間	令和2年（2020年）12月1日から令和8年（2026年）3月31日	

2 評価

（1）管理運営の状況

項目	評価内容	適否
開館時間、休館日等	仕様に定められた開館予定日数、開館時間は守られているか。	○
管理運営体制	①利用者数は適正か	○
	②業務執行体制（各業務、作業の責任者等）が明確になっているか。	○
	③業務に必要な職員数は確保されているか。	○
	④管理運営及び業務に必要な有資格者を必要数配置しているか。	○
施設管理体制	①利用実績に関する帳簿が作成され、適切に保管されているか。	○
	②業務日誌等の報告書、点検記録は適切に保管されているか。	○
	③生じた事故の記録は保管されているか。	○
研修体制	計画的に研修等を実施しているか。	○
市との連絡	①各報告書や事業計画書が適切に提出されているか。	○
	②緊急時の連絡体制が明確化されているか。	○
再委託等	①指定管理業務の全部、または主たる業務を第三者に再委託していないか。	○
	②市の承諾なしに、業務を第三者に委託、請け負わせていないか。	○
	③再委託先から適切に業務報告をさせるなど、再委託先の業務を適切に管理しているか。	○
利用許可	①利用者の平等な利用が確保されているか。	○
	②利用までの手続きが円滑に処理されているか。	○
利用料	①利用料の徴収は適切に処理されているか。	○
	②利用料の減免の手続きは適切に処理されているか。	○
施設等の維持管理	①法定保守点検は点検内容、時期等が法令基準に基づき確実に実施されているか。	○
	②点検によって異常等が認められた場合、速やかに修繕、交換及び調整等の適切な処置が実施されているか。	○
	③施設、設備等が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか。	○
備品の維持管理	備品の保管及び管理は適切であるか。	○
施設等の清掃	整理整頓及び定期的な清掃が適切に行われているか。	○
危機管理等	①（夜間等）職員不在時の警備体制が明確化されているか。	○
	②不審者等に対応するためのマニュアルが整備されているか。	○
	③鍵の管理は適切に行われているか。	○
	④災害発生時のマニュアルは作成されているか。	○
	⑤災害発生等を想定した避難訓練を年2回以上実施しているか。	○
情報管理	個人情報等の管理が適切に行われているか。	○

（2）経営の状況

資格	指定管理者の申請資格に抵触する事項はないか。	○
収支状況	適正な経費の執行管理が行われているか。	○

適否基準

「○」：適切である。

「△」：概ね適切である。

「×」：適切でない。

3 利用者意向調査の結果

(1) 指定管理者が行った利用者意向調査の結果

①利用者意向調査の実施内容	ア 調査方法 指定管理施設において、紙媒体による実施。 無記名にて記入のうえ、施設へ直接提出。 イ 回答者数 27人 ウ 質問項目 別紙参照
②調査の結果	別紙参照
③調査の結果得られた主な意見・回答	保護者からは、日頃の支援や子どもへの配慮に対する感謝の声が多く寄せられ、安心して利用できていることがうかがえました。一方で、入所初日の対応についてのご意見や、学校との連携をもう少し図ってほしいという要望がありました。また、おやつのアレルギー表示について、成分が確認しやすい包装への変更を求める声がありました。そのほか、危険な遊びや持ち物に関する情報共有の必要性、申込手続きのWeb化を望む意見もありました。全体として、感謝の意見とともに、運営面での改善や情報共有に関する要望が見られました。

4 指定管理者による自己評価

(1) 利用者の要望等を把握し、それらを反映する取組についての評価

(2) 様々な媒体	別紙 指定管理者モニタリングシート（令和7年度分）参照
(3) 全体的な評価	

5 総合評価

総合評価
【出あう】地域の方を講師とした多様な活動を通して、子どもたちに日常では出会えない人やもの、体験との出会いの機会を創出している点は評価できる。定例のプログラムが多いため、今後は「たまたま」らしさを感じられるプログラムの提供にも期待したい。 【つながる】放課後の時間帯以前から乳幼児親子の居場所として機能している点は評価できる。また、利用児童の保護者との日々の連絡や情報共有を丁寧に積み重ねた結果、アンケートでは「安心して通わせられる」と回答した保護者が9割を超えている。さらに、子どもたちの声を取り入れるため「要望BOX」を設置し、子どもたちが意見を発信し、支援員と対話できる仕組みを整えたことも評価できる。今後は、保護者の意見、子ども達の意見を踏まえた今後の対応方針なども公表されることを期待する。 【ふるさとで自ら育つ】子どもたちとともに「玉縄祭り」へ「駄菓子屋さん」として出店し、地域との交流や多学年で意見を出し合いながら試行錯誤する機会を設けている点は評価できる。地域の活動の中で子どもたちが自ら考える機会を創出していることに加え、地域に飛び出すことで、保護者や地域の方々に放課後かまくらっ子への理解を深めてもらう機会にもなっており、こうした取組を評価したい。 【その他】 保護者アンケートには、「友達も1人しかいない状態で長時間放置された」、「エアガンやスプレーのようなものを持っていた」といった記載があり、こうした保護者の意見や心配事に対して、本報告書では対応方針が不明確である。子どもや保護者の声を整理・分析し、対応方針の決定やその結果等について、利用児童や支援員、市と適宜共有していただきたい。一方で、いじめが発生した際には、関係する児童や保護者等と対話を重ね、原因の追及、いじめ防止策の立案・実施など、利用者に真摯に向き合い、迅速に対応していた点は評価できる。

6 放課後かまくらっ子推進部会の意見

利用人数が多いなかで、さまざまな工夫をして安全に気をつけ、生活環境を工夫して対応している。「要望BOX」を作り、子ども達の思いを受け止めるなど工夫している点も評価される。月一回の職員会議を行い、職員同士のコミュニケーションをとるなど適切な対応をしている。 そうした中、アンケートによると高学年の子がBB弾の出るエアガンのようなものを持ってきて、噴射して顔にかけたこと、申込申請がWEBで申し込めると助かる等の要望もあり、より丁寧な対応も必要と思われる。また、いじめも発生したと報告されており、学校とは異なる解放された空間、関係づくりへの工夫も必要と思われる。 アンケートの結果に対する結果報告などもきちんとされるとよりよい内容となると考えられる。より一層の工夫を期待したい。また研修も充実させるとより一層よくなると思われる。
--